PowerSpot575 取扱説明書

株式会社サウンドハウス
〒286-0044　千葉県成田市不動ヶ岡 1958
TEL:0476(22)9333　　FAX:0476(22)9334
http://www.soundhouse.co.jp shop@soundhouse.co.jp

はじめに

この度は ELATION PowerSpot575 をご購入頂き、誠にありがとうございます。
PowerSpot575 は DMX に対応しており、DMX コントローラーで操作することが可能です。
PowerSpot575 の性能を最大限に発揮させ、末永くお使い頂く為に、ご使用になる前にこの取扱説明書を必ずお読み下さい。また不明な点が生じた場合に備え、保証書と一緒に大切に保管して下さい。

ディスチャージ・ランプに関する注意

本製品に搭載されたディスチャージ・ランプは非常に破損しやすい為、取扱いには十分ご注意下さい。ランプに直接手を触れると油脂が付着して破損することがあります。手で触れた場合はやわらかい布で電球の表面をふき取って下さい。また衝撃などにより電球内のフィラメントが切れることがありますので、取扱いにはご注意下さい。

ディスチャージ・ランプは非常に強い紫外線を発光します。極度の輝度は網膜を痛める可能性があります。保護カバーは紫外線の放射を遮断する為に特別にデザインされていますので、保護カバーなしで本製品を絶対に使用しないで下さい。

注：ディスチャージ・ランプを直接見ることは絶対に避けて下さい。

本体電源のオン/オフを短い時間に連続して行うとランプの寿命が縮まりますのでお止め下さい。
ランプや電源を OFF にした後、5 分間は電源を入れないようにして下さい。
電球の寿命が短くなるため、再度使用する場合は 5 分以上クールダウンをしてから電源を入れご使用下さい。

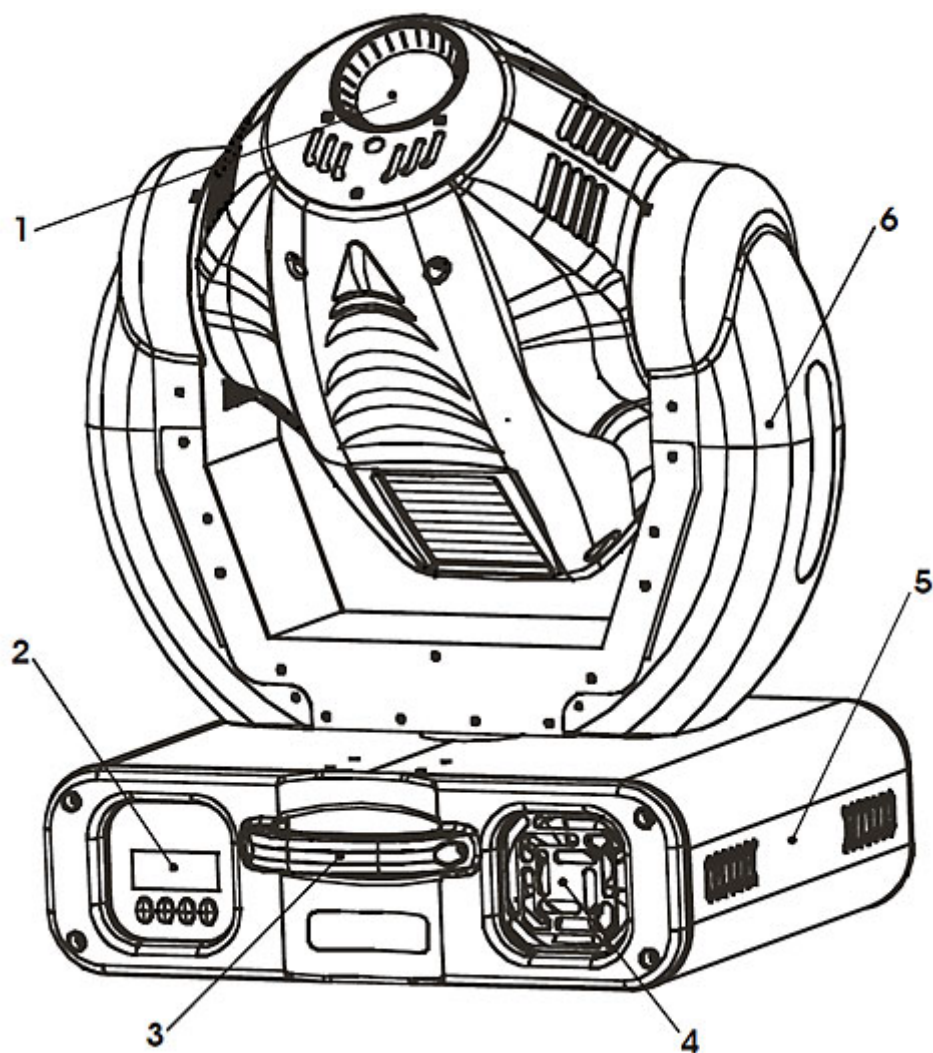
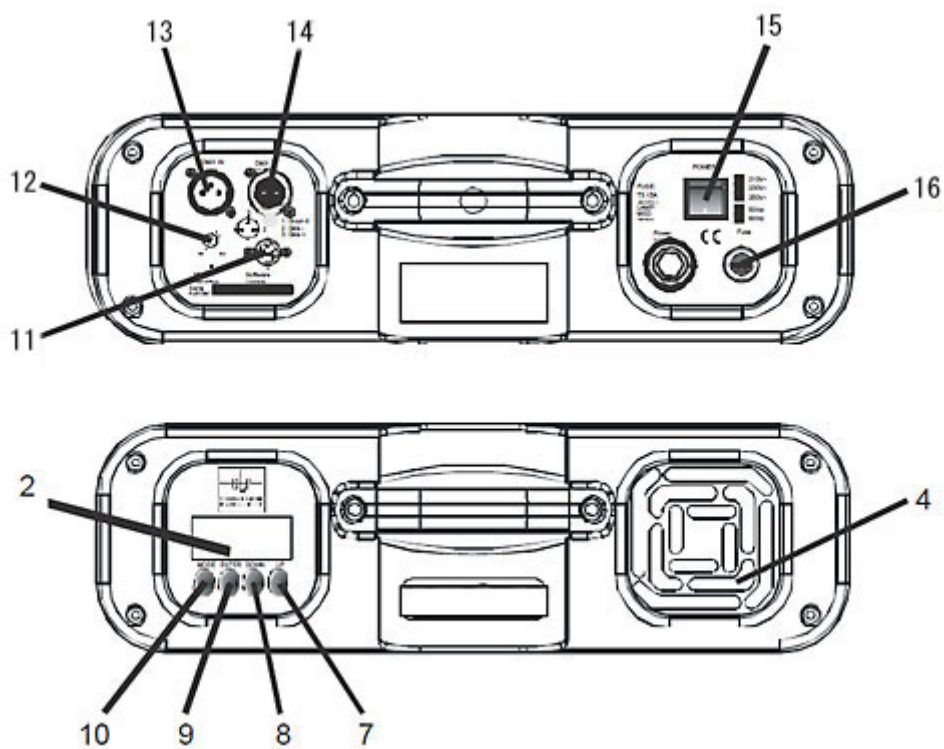
照度を保つ為に、ディスチャージ・ランプは高圧で圧縮されたガスが使用されています。その為、長期に渡り使用した場合、ランプが破裂する恐れがあります。このリスクはランプが古くなるにつれ増加し、それにつれ更なる注意が必要になります。ガスを使用したディスチャージ・ランプが装填されている製品を使用する際にはくれぐれもご注意下さい。また、使用中に本体を開けることは危険ですのでお止め下さい。

安全上のご注意

PowerSpot 575 は精密電子機器です。本製品を安定してお使い頂く為に本取扱説明書を良くお読み下さい。

- 感電、火災の危険性を最小限におさえる為に、雨天や高湿度の状況下で本製品を使用することはお止め下さい。
- 水などの液体を本体表面にこぼしたり、本体内部にかけたりしないようご注意下さい。
- 定格電圧 AC100V、50/60Hz でご使用下さい。
- 損傷、断線した電源ケーブルを使用することはお止め下さい。
- アースピンは本体内部回路がショートした際に感電、火災の危険性を抑える役割をします。電源ケーブルのアースピンを取り除くことは絶対にお止め下さい。本体を他の機材と接続する際には必ず電源ケーブルをコンセントから外してから行って下さい。
- どのような状況においても本体のカバーを外さないで下さい。
- 必ず風通しの良い、壁から約 15 センチ以上離れた場所に設置して下さい。
- 本体に損傷がある場合は本製品の使用を止めて下さい。
- 本製品を天井から吊るす場合、必ずセーフティーケーブルおよび対応クランプを使用して設置して下さい。
- 本製品は屋内でのみ使用可能です。屋外で使用した場合保証対象外になりますので予めご了承下さい。
- 長期間本製品を使用しない場合は電源ケーブルをコンセントから外して下さい。
- 電源ケーブルは踏まれたり、物に挟まれたりしないようご注意下さい。
- 本製品はラジエーター、ストーブ等の熱源から離して使用して下さい。

本製品に異常を感じた時は速やかに使用を中止し、販売店又は正規代理店にお問い合わせ下さい。

本体のレイアウト

1. レンズ
2. ディスプレイとメニュー
3. 運搬用ハンドル
4. 冷却ファン
5. ベース
6. アーム

7. Up ボタン
8. Down ボタン
9. Enter ボタン
10. Mode ボタン
11. ファームウェア接続
12. マイク入力感度調整
13. DMX 入力端子
14. DMX 出力端子
15. 電源スイッチ
16. ヒューズホルダー

1. レンズ

PowerSpot 575 はフォーカス可能な高品質レンズを搭載しています。フォーカスを変更する際には手動でレンズを回転させて下さい。

2. LED ディスプレイ

メニューや操作機能を表示します。

3. 運搬用ハンドル

本体に運搬用ハンドルが搭載されています。本体を持ち運ぶ際は必ず運搬用ハンドルをお使い下さい。ヘッドやアームを持って本体を持ち運ぶと灯体が破損する恐れがあり、保証対象外となりますのでお止め下さい。

4. 冷却ファン

PowerSpot 575 は可変スピード冷却ファンを搭載しています。この冷却ファンは本体動作時の温度によって動作速度が変化するように設計されています。本製品の故障の原因となりますのでご使用の際は冷却ファンを塞がないで下さい。また、定期的に掃除を行って下さい。

5. ベース

主要な電子部品が内蔵されています。また本体を壁や天井に安定して設置できるように設計されています。

6. アーム

レンズアセンブリへの配線管の役割をします。

7. UP ボタン

システムメニューの画面上で前にスクロールをする際に使用します。

8. DOWN ボタン

システムメニューの画面上で後にスクロールをする際に使用します。

9. ENTER ボタン

システムメニュー上で機能の決定を行う際に使用します。

10. MODE ボタン

メインシステムメニューやプログラミング機能にアクセスする際に使用します。

11. ファームウェア接続

Elation の認定技術者が灯体のアップグレードを行う際に使用します。

12. マイク

サウンドアクティブ・モード、又はマスター/スレーブモード時に内蔵マイクが受信する低周波数帯域の音声信号に本体が反応します。

13. DMX 入力端子

DMX 信号、またはマスター/スレーブ信号を受信します。

14. DMX 出力端子

DMX 入力端子から受信したDMX 信号をもう1 台の灯体に送信する場合、又はマスター/スレーブモード時にもう1 台の PowerSpot 575 に信号を送信する場合に使用します。接続に使用するケーブルの長さをできる限り短くすることによりDMX 信号の減衰を最小限に抑えることができます。

15. 電源スイッチ

電源のオン/オフを切替えます。

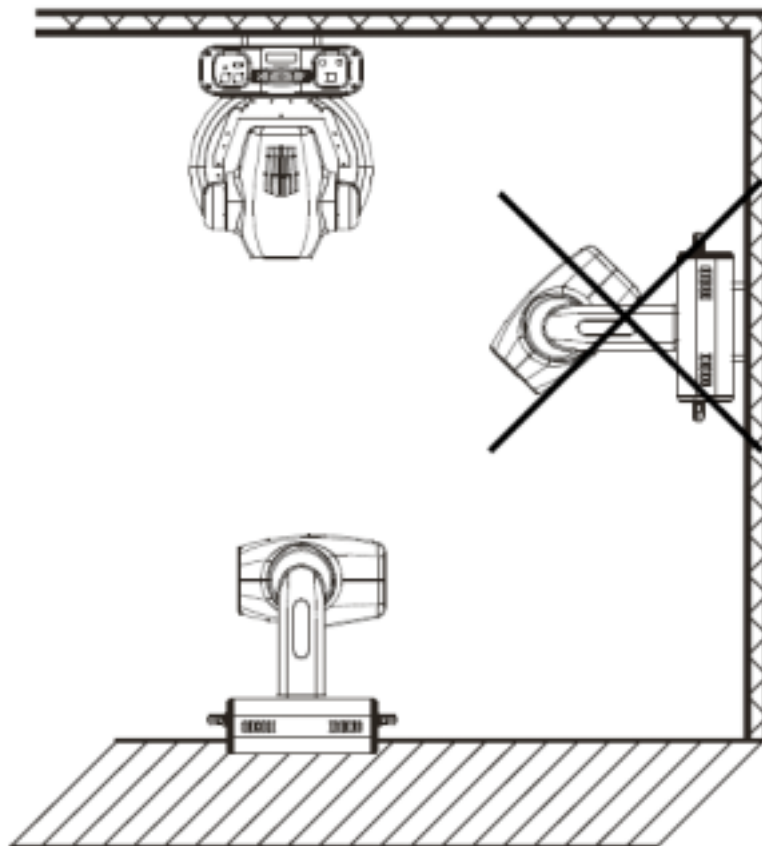
16. ヒューズホルダー

10A GMA のヒューズをご使用下さい。ヒューズは電源の激しい変動が起きた場合に切れて、本体の内部回路を保護するように設計されています。ヒューズが過入力電源等により切れた場合は、速やかに同等のヒューズと交換して下さい。

本体の取り付け

設置方法

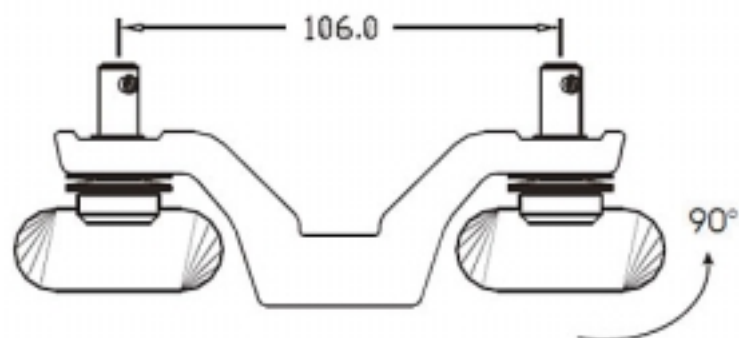
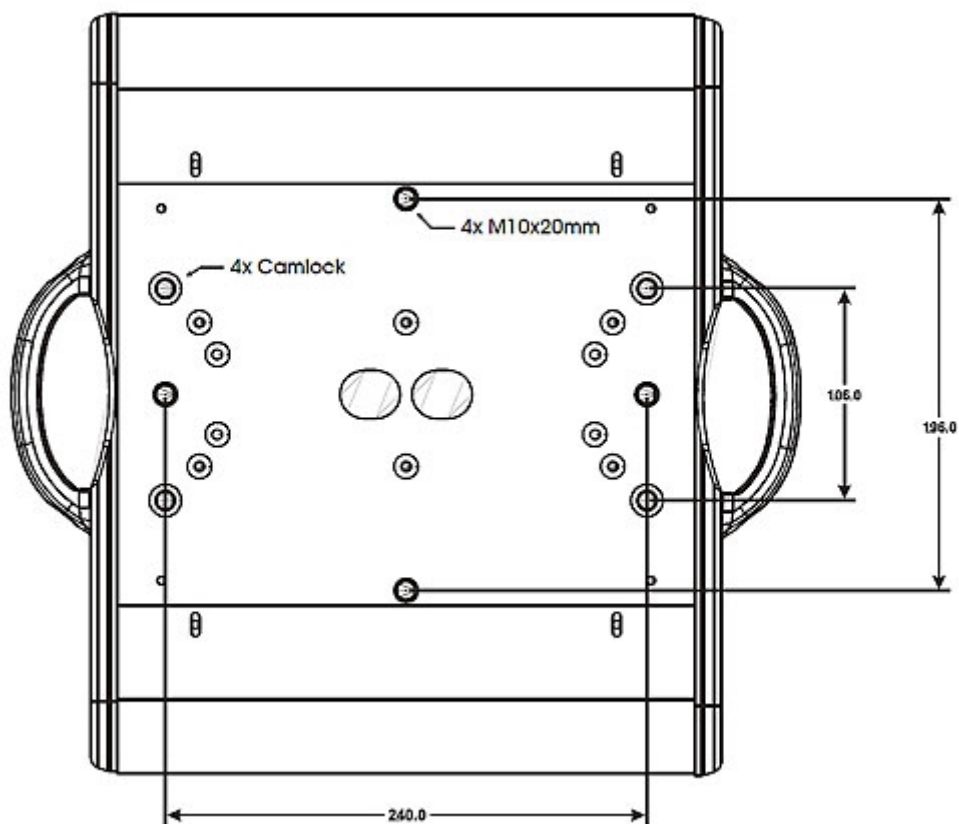
PowerSpot 575は2つの方法で設置することが可能です。内部回路の破損を避ける為に本体を横に設置しないで下さい。

また、装飾用具等の可燃物からは最低 0.5 メートルの距離をおくように注意して下さい。また使用するセーフティーケーブルの耐重量は PowerSpot 575 本体の 10 台分以上のもの(222kg)を使用して下さい。尚、運搬用ハンドルは固定用ハンドルとしては使用できません。

1. クランプ

PowerSpot 575 は本体背面に複数のクランプを取り付けて本体を固定することが可能です。トラスに取り付ける際は適切な耐荷重量のクランプを使用して下さい。正しいクランプの取付け方法については本体裏面に明記された注意を参照して下さい。

カムロック・システム

A. カムロック・システムはクランプを本体に素早く、効率よく取り付けることができます。クランプを本体に取り付ける際は、まず耐荷重量値が適切なクランプをカムロックに取り付

けます。クランプがカムロックについた状態でカムロックを本体裏にある専用ポイントに取り付けて下さい。カムロックのナットを 90 度回転させ固定して下さい。

B.　必ずカムロックを本体裏面に 2 つ取り付け、安全な状態でトラスに設置して下さい。

本体の固定

設置方法（壁、トラス設置など）に関わらず、PowerSpot 575 を安全に使用する為に、セーフティーケーブルを必ず使用して下さい。本体両側にある 2 つの穴にセーフティーケーブルを通し、トラス・システム等との間に輪を作って下さい。運搬用ハンドルはセーフティーケーブル用としては設計されていません。必ずセーフティーケーブル用の穴を使用するようご注意下さい。

本体の接続

使用電源

PowerSpot 575 は定格電圧 AC100V、50/60Hz で使用して下さい。電源ケーブルをコンセントに接続する前に電源を確認して下さい。

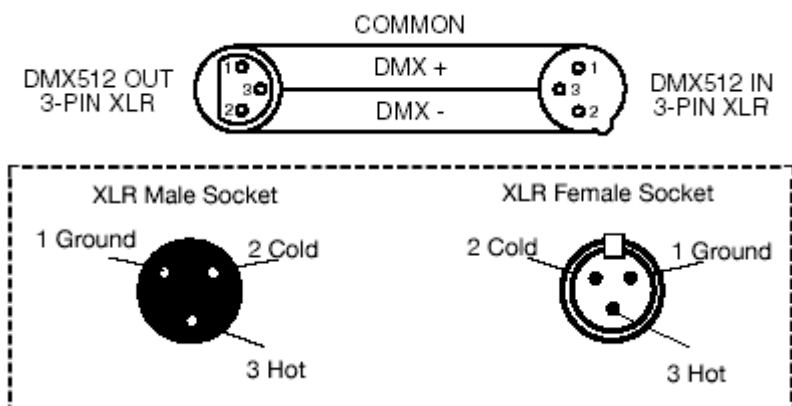
DMX-512

DMX は照明コントローラーとその他照明機器間のデータ通信を行う為の世界共通規格です。DMX コントローラーから照明機器に信号を送信し、遠隔操作を行うことが可能です。また照明機器の "DATA IN"、"DATA OUT"端子を介し、DMX 信号をシリアル接続することにより複数台のユニットを操作することが可能です。その際、接続に使用するケーブルの長さをできる限り短くすることにより DMX 信号の減衰を最小限に抑えることができます。

DMX ケーブル

PowerSpot 575 は 6 チャンネル DMX ユニットです。DMX アドレスは本体の底面で設定して下さい。DMX コントローラーと DMX ユニットの接続は XLR 仕様のケーブルを使用し行います。DMX ケーブルを作る際は標準 2 芯シールドケーブルを使用して下さい。

また、DMX ケーブルは並列接続することができません。必ず直列接続して下さい。

DMX ケーブルを作る際、以下の図を参照して下さい。

5 ピン XLR 仕様の DMX コネクター

照明機器メーカーによっては 3 ピン仕様の XLR コネクターの代わりに 5 ピン仕様の XLR コネクターを DMX 信号の通信用に採用しています。5 ピン仕様の XLR コネクターを PowerSpot 575 に接続する際は変換アダプターをお使い下さい。

ヒューズ

PowerSpot 575 の内部回路は 5 x 20mm のヒューズに保護されています。ヒューズの仕様については本体側面に明記されています。

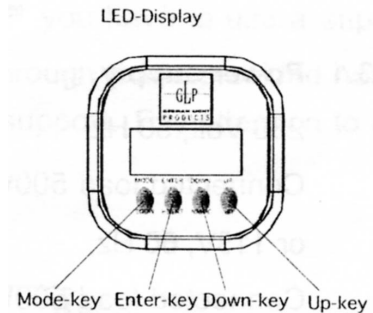
注:

- ヒューズを交換する際は必ず本体の電源ケーブルを抜いて下さい。
- 必ず同じ仕様のヒューズと交換を行って下さい。定められているヒューズ以外を使用すると本体の内部回路が破損する恐れがあります。この場合、メーカーの保証は受けられませんので予めご了承下さい。

本体の運搬

PowerSpot 575 は本体のベースに運搬用のハンドルを搭載しています。本体を運搬する際は必ずこのハンドルを持つようにして下さい。アームを持って本体を持ち上げることは絶対にお止め下さい。

フィクスチャー・メニュー

ベースのサイドパネル上にはコントロールボードおよびメインメニューが搭載されています。コントロールボードでPowerSpot 575に必要な設定を全て行います。Modeボタンでメインメニューに入ります。メインメニューに入ったら、Up/Down ボタンでメニューを検索します。次のメニューに移行したり、今の設定を確認するにはEnterボタンを押して下さい。新しい機能を設定したり、ON/OFF 切替えする場合は Up/Down ボタンを押します。機能の確認、保存は Enter を押して下さい(ディスプレイに OK と表示されるのを確認します)。Mode ボタンを押すとキャンセルされ、メインメニューに戻ります。

メニュー レベル 1	メニュー レベル 2	メニュー レベル 3	機能
D001			DMX スタートアドレスを設定する
TEST			全機能のテストプログラム
AUD1	ASLW		自動オーディオプログラム(SLOW)
	AFST		自動オーディオプログラム(FAST)
	MSTR		オーディオプログラム用マスター
	SVPT		オーディオプログラムの基本設定
	SIZE		オーディオプログラムのサイズ
LAMP			電球の ON/OFF
RESE			リセット
TIME	POWR		フィクスチャーの稼働時間(消去不可)
	LA1		電球の稼働時間(消去可能)
	LA2		電球の稼働時間(消去不可)
RPAN			PAN 逆回転
RTLT			TILT 逆回転
SPEC	MANU		全機能をマニュアルで操作
	LAAU	DMX モード M	電球自動 ON
	DLOF	DMX モード H	DMX 信号により電球を OFF
	DMXI	DMX モード、スタンダード GLP	DMX 値の読み出し
	DISP	D ON	ディスプレイ ON/OFF
		REV	ディスプレイ表示を調整する
	TEMP		POWERSPOT575 内部温度を読み出す
	FANS	HIGH	冷却ファンの最高回転速度
		REG	冷却ファン自動コントロール
		LOOF	冷却ファン低速回転→電球 OFF
			冷却ファン低速回転→自動
	ADJU		調整メニューを入力する際、このコードを使用(認可

			を受けたユーザーのみがこの機能を使用可能)
			カラーホイールの調整
			ゴボホイールの調整
			ゴボホイール 2 の調整
			プリズムホイールの調整
			シャッターの調整
			パン・オフセット値の調整
		TOFS	チルト・オフセット値の調整
		ARES	リセットの調節
		CLRE	内部メモリの設定(技術者のみ設定可)
		FACC	コードで保護されている
		VTIL	ソフトウェア・バージョン、チルト PC ボード
		VTOP	ソフトウェア・バージョン、トップ PC ボード
		VBOT	ソフトウェア・バージョン、ボトム PC ボード
		FASP	ディスプレイのファン速度
	DFSE		各機能を初期設定値に戻す
	FEED		PAN/TILT フィードバック(エラー修正)ON/OFF
	EFLG		障害を修正します

D001

DMX アドレスの設定と変更

PowerSpot 575 の電源を入れると現在設定されている DMX アドレスが表示されます。DMX 信号を受信していない場合、ディスプレイに表示されているアルファベットと数値全体が点灯します。

DMX アドレス設定する場合、次の手順に従って下さい。

1. PowerSpot 575 の電源を入れ、フィクスチャーリセットが完了するのを待ちます(RESE がディスプレイ上に点灯します)。
2. Mode ボタンを押してメインメニューを開きます。Up/Down ボタンを押して D001(DMX アドレス)を表示させて下さい。Enter ボタンを押し確定します(数値間に小数点表示され点灯します)。
3. Up/Down ボタンで任意の DMX アドレスを選択して下さい。Enter で確定(ディスプレイに OK と表示されます)、もしくは Mode でキャンセルします。

PowerSpot 575 の電源を OFF にすると、DMX アドレスが自動的に保存されます。

TEST

テストプログラム

テストプログラムを使って全機能のセルフテストを行います。Enter で確定、Mode でキャンセルします。

AUDI

オーディオプログラム
オーディオメニューを使い、スタンドアローンのオーディオプログラムを再生することができます。(オーディオプログラムとは本体付属のマイクに音を感知させ動作する機能です)チェーサーの速度は自由に調整できます。MIC Sensitivity ツマミでマイク感度の調整が可能です。

Audi 内のメニュー
- ASLW:Enter ボタンを押すと 1 ビート毎にチェースが SLOW 動作で 1 ステップ再生されます。
- AFST:Enter ボタンを押すと 1 ビート毎にチェースが FAST 動作で 1 ステップ再生されます。
- DMX を使用せず複数の PowerSpot 575 を同時に作動させたい場合、マスター/スレーブチェーンを構築する必要があります。一台をマスターとして設定し、残りをスレーブとして設定して下さい。
  MSTR:ON にすることでマスター機として動作します。
- SVPT:MSTR を OFF にすると自動的にスレーブ機に設定され、Enter を押すと ok が表示されます。
- SIZE:Enter ボタンを押すと本体稼動動作の大きさ NORM(普通)、BIG(大)、MIDL(中)、SMAL(小)4 種の選択が可能となります。

注意:DMX 信号が入力されていると、オーディオ機能は作動しません。オーディオプログラムは DMX 信号が不意になくなった際の非常用プログラムとしても使用できます。

LAMP

電球 ON/OFF
Up/Down ボタンで電球の ON/OFF を設定します。Enter で設定を確定、Mode を押すとキャンセルされ、メインメニューに戻ります。電球が消灯され、シャッターが閉まっている場合のみ電球オフコマンドが機能します。外部 DMX コントローラーまたはマニュアル・ドライブ・モードを使用して下さい。

RESE

リセット
全機能をリセットするには、Enter を押して下さい。ディスプレイ上に RST と表示されます。

TIME

稼働時間(電球/本体)
PowerSpot 575 の稼働時間(3 種類)を読み出します。

TIME 内のメニュー
- POWR:PowerSpot 575 本体の稼働時間(消去不可)

- LA 1：電球の稼動時間（消去可能）リセットするには、Up/Down ボタンを同時に 3 秒間程押して下さい。
- LA 2：電球の稼働時間（消去不可）

APAN

PAN 回転を反転させる
Up/Down で反転 ON/OFF を選択します。Enter で確定、Mode を押すとキャンセルされ、メインメニューに戻ります。

ATLT

TILT 回転を反転させる
Up/Down で反転 ON/OFF を選択します。Enter で確定、Mode を押すとキャンセルされ、メインメニューに戻ります。

SPEC

特殊機能
このメニューで PowerSpot 575 の特殊機能にアクセスできます。詳細は以下の通りです。

MANU

マニュアル・ドライブ
この機能を使えば、PowerSpot 575 の全機能を手動で動かすことができます。Up/Down で任意の機能を選択し、Enter で確定します。次に Up/Down ボタンで任意の値を設定し、Enter で確定して下さい。または Mode を押すとキャンセルされ、メニューに戻ります。

機能	値	動作
PAN	000-255	PAN 位置設定
TILT	000-255	TILT 位置設定
COLO	000-255	カラーホイール
GOB 1	000-255	ゴボホイール 1
GROT	000-255	ゴボ回転
GOB 2	000-255	ゴボホイール 2
PRIS	000-255	プリズム回転
SHUT	000-255	シャッター/ストロボ機能 （ディマーが OPEN 設定＝DMX255 の場合、DMX 信号が 255 で電球が点灯します）
DIMR	000-255	ディマー
FOCU	000-255	フォーカス
SPEC	000-255	電球オフ、リセット
LASR	000-255	レーザー

LAAU

電球自動オン

PowerSpot 575 の電球をオンにすると自動的に電球が点灯します。この機能を使用する場合、Up/Down ボタンで ON を選択します。この機能を使用しない場合、OFF を選んで下さい。Enter で確定、Mode を押すとキャンセルされ、メニューに戻ります。
OFF を選択した場合、電球を点灯する際は DMX 信号か、PowerSpot 575 のランプメニューで行って下さい。

DLOF

DMX 信号による電球オフ

DMX コントローラーを使用し電球を消灯できます。この機能を使用する場合、Up/Down ボタンで ON を選択します。この機能を使用しない場合、OFF を選んで下さい。Enter で確定、Mode を押すとキャンセルされ、メニューに戻ります。
OFF を選択した場合、電球の消灯は PowerSpot 575 のランプメニューを選び OFF にするか、主電源を切って下さい。

DMXI

DMX 入力

PowerSpot 575 が受信した各チャンネルの DMX 値を読み出します。Up/Down ボタンでチャンネルを選択して下さい。Enter を押すと値が表示されます。

機能	値	動作
PAN	000–255	PAN 位置設定
TILT	000–255	TILT 位置設定
COLO	000–255	カラーホイール
GOBO 1	000–255	ゴボホイール 1
GROT	000–255	ゴボ回転
GOBO 2	000–255	ゴボホイール 2
PRIS	000–255	プリズムホイール
SHUT	000–255	シャッター/ストロボ機能
DIMR	000–255	ディマー
FOCU	000–255	フォーカス
SPEC	000–255	電球オフ、リセット
MOVE	000–255	動作
SPED	000–255	スピード PAN/TILT
LASR	000–255	レーザー

DISP

ディスプレイ

ディスプレイ表示を切替えます。Up/Down ボタンで任意の表示を選択し、Enter で確定、もしくは Mode を押してキャンセルして下さい。

D ON	ディスプレイのオン/オフを切替えます。オフを選択した場合、データ入力後 15 秒後に自動的に画面が消灯します。次に任意のキーを押すと再度画面が点灯します。
REV	画面を 180° 回転させ表示します。

TEMP

本体温度

PowerSpot 575 本体の温度を読み出します。Enter ボタンを押すとこの機能を選択し、Mode ボタンを押すとキャンセルされます。本製品の通常本体温度は 85℃～95℃です。96℃～104℃に本体温度が達すると本体は危険な状態にあり、105℃を超えると自動的に保護モードが作動し、本体温度が 95℃以下に下がるまで電球が消灯されます。

FANS

ファンコントロール

ファン回転速度の 4 段階切替えが出来ます。Enter で任意のスピードを選択して下さい。Mode を押すとキャンセルされ、メニューに戻ります。

HIGH	最高スピードで持続的に回転します。
REG	本体温度が上昇すると、自動的にファン回転スピードが加速します。
LOOF	あらかじめファン回転速度を設定して下さい。内部温度が最高値に達するまで設定した速度でファンが回転します。温度が最高値に達すると、電球が自動的に消灯されます。
LOHI	あらかじめファン回転速度を設定して下さい。内部温度が最高値に達するまで設定した速度でファンが回転します。温度が最高値に達すると、ファン回転が最高速度に切替わります。

ADJU

調節と調整

サービス技術者用に搭載された機能です。この機能を使ってホイールやモーターの位置を調節することが可能です。Up と Down ボタンを使用して調整する機能を選択し、Enter で決定します。またキャンセルする場合は Mode ボタンを使用します。Up と Down ボタンを使用しそれぞれの値を設定し、再び Enter ボタンで決定します。

機能	値	動作
ADJU	CODE XXXX	調節する際はコードを入力して下さい。
COLO	-99 – +99	カラーホイールを調節します。
GOB 1	-99 – +99	ゴボホイール 1 を調節します。
GOB 2	-99 – +99	ゴボホイール 2 を調節します。
PRIS	-99 – +99	プリズムホイールを調節します。
SHTR	-99 – +99	シャッターを調節します。
POFS	-99 – +99	パン・オフセットを調節します。

TOFS	-99 – +99	チルト・オフセットを調節します。
ARES	-99 – +99	リセット
CLRE	内部回路の調節	
FACC	-99 – +99	ON に切替えなければ動作しません。
VTIL	-99 – +99	ソフト版チルトボード
VTOP	-99 – +99	ソフト版ヘッドボード
VBOT	-99 – +99	ソフト版ベースボード
FASP	-99 – +99	ファンスピードの表示

DFSE

初期設定

このメニューで Enter を押すと、PowerSpot 575 の全機能が工場出荷時の状態に戻ります（ユーザーにより調整されたパラメーターは除く。機能が初期設定に戻ると、ディスプレイ上に OK と表示されます。

機能	ディスプレイ	初期設定			
DMX アドレス	D001	D001			
PAN 逆回転	RPAN	ON		OFF	
TILT 逆回転	RTLT	ON		OFF	
電球自動 ON	LAAU	ON		OFF	
DMX 信号による電球 ON	DLOF	ON		OFF	
ディスプレイ	DISP	D ON		–	
冷却ファン	FANS	HIGH	REG	LOOF	LOHI
フィードバック	FEED	ON		OFF	

FEED

フィードバック

PowerSpot 575 には PAN、TILT の自動位置調整機能（フィードバック）が搭載されています。この機能を使用するには、Up/Down ボタンで ON を選択し、使用しない場合は Off を選択して下さい。Enter で確定、Mode でキャンセルされ、メニューに戻ります。

EFLG

エラー/故障の調整

この機能はメーカーに認定されたサービス技術者のみアクセス可能です。

エラー/インフォメーション・メッセージ

HEAT	本体の電源を切って 5 分以内に再度電源をオンにするとディスプレイに表示されます。このメッセージは 20 秒以内に電球が点灯しない際に表示されます。尚、メッセージが表示された 5 分後に自動的に電球が点灯します。
LAER	電球が 2 度にわたり点灯しない場合、ディスプレイに"LAER"と表示されます。このメッセージは電球、バラスト、イグナイター等が破損した可能性があることを意味します。このメッセージが表示された場合は速やかに本体の電源を切り、問題を改善して下さい。
OTMP	本体がオーバーヒートしリレー回路が電球のスイッチをオフにしたことを意味します。このメッセージが表示された場合は速やかに本体の電源を切り、問題を改善して下さい。
RSER	本体機能のリセットが正しく行われなかったことを示します。

基本操作

スタンドアローン・モード(サウンドアクティブ)

音楽に合わせてユニット単体が動作します。スタンドアローン・モードでは PowerSpot 575 を単体、又はリンクさせた複数台を動作させることが可能です。

1. メインメニューに入り、AUDI 機能を選択して下さい。これによりオーディオ・サブメニューに入ります。
2. オーディオ・サブメニューでオーディオ・チェーススピード(FAST/SLOW)を設定して下さい。
3. マスター(MSTR)機能をオンに設定し、SVPT 機能をオフにして下さい。
4. 部屋のサイズを NORM、BIG、MIDL、SMAL から設定して下さい。内蔵プログラムが自動的にライトの出力を部屋の大きさに調整します。
5. マイク入力感度調節ツマミを調節し入力感度を設定して下さい。内蔵マイクにより本体が音声信号の低周波数帯域に反応します。

マスター/スレーブ・モード(サウンドアクティブ)

最大 16 台の PowerSpot 575 をリンクさせ、コントローラー無しで操作することが可能です。リンクされた全てのユニットは音に反応して動作します。またマスター/スレーブ・モードでは 1 台がマスターになり、残りのユニットはスレーブとして動作します。

1. 3 ピン XLR 仕様の DMX ケーブルを使用して、複数の PowerSpot 575 を直列接続して下さい。接続台数が多く、ケーブルの長さが長くなる場合はターミネーターを最後のユニットに接続することをお勧めします。
2. オーディオ・サブメニューで接続された最初の灯体をマスター機(MSTR)に、その他の全ての灯体をスレーブ機(SVPT)に設定して下さい。
3. マスターとスレーブがリンクし、マスター機と同様にスレーブ機が動作します。

DMX コントロールモード

DMX-512 コントローラーを使用してミラー・ムーブメント、カラーホイール、ゴボホイール、シャッターを操作することが可能です。DMX コントローラーを使用することにより用途にあった設定をすることが可能です。

1. PowerSpot 575 は 15DMX チャンネルを使用することが可能です。各 DMX チャンネルの機能は DMX プロトコル表をご参照下さい。
2. DMX 機器間の接続ケーブルが 30m 以上になる場合、最後の灯体にターミネーターを取り付けることをお勧めします。
3. DMX モードの操作に関しては DMX コントローラーの取扱説明書を参照して下さい。

DMX プロトコル

チャンネル	機能	時間、値	DMX	HEX	%
1)PAN 粗調整	0…530°	最低 2.65 秒	0-255	00-FF	0-100
2)PAN 微調整	High-Pos…High-Pros +2.1 °（16bit）		0-255	00-FF	0-100
3)TILT 粗調整	0…285°	最低 1.8 秒	0-255	00-FF	0-100
4)TILT 微調整	High-Pos…High Pros +1.1 °（16bit）		0-255	00-FF	0-100
5)カラー	オープン（最高速度）	チェーサー/カラーが切替わります。140BPM→0.43s	0-1	00-01	0.2
	オープン/カラー1（最高速度）		2-3	02-03	1.0
	カラー1（最高速度）		4-5	04-05	1.8
	カラー1/カラー2（最高速度）		6-7	06-07	2.5
	カラー2（最高速度）		8-9	08-09	3.3
	カラー2/カラー3（最高速度）		10-11	0A-0B	4.1
	カラー3（最高速度）		12-13	0C-0D	4.9
	カラー3/カラー4（最高速度）		14-15	0E-0F	5.7
	カラー4（最高速度）		16-17	10-11	6.5
	カラー4/カラー5（最高速度）		18-19	12-13	7.3
	カラー5（最高速度）		20-21	14-15	8.0
	カラー5/カラー6（最高速度）		22-23	16-17	8.8
	カラー6（最高速度）		24-25	18-19	9.6
	カラー6/カラー7（最高速度）		26-27	1A-1B	10.4
	カラー7（最高速度）		28-29	1C-1D	11.2
	カラー7/カラー8（最高速度）		30-31	1E-1F	12
	カラー8（最高速度）		32-33	20-21	12.7
	カラー8/カラー9（最高速度）		34-35	22-23	13.5
	カラー9（最高速度）		36-37	24-25	14.3
	カラー9/カラー10（最高速度）		38-39	26-27	15.1
	カラー10（最高速度）		40-41	28-29	15.9
	カラー10/カラー11（最高速度）		42-43	2A-2B	16.7
	カラー11（最高速度）		44-45	2C-2D	17.5
	カラー11/オープン（最高速度）		46-47	2E-2F	18.2
	オープン（最高速度）		48-63	30-3F	19
	オープン（最低速度）	チェーサー/カラーが切替わります。70bpm→0.86s	64-65	40-41	25.3
	オープン/カラー1（最低速度）		66-67	42-43	26.1
	カラー1（最低速度）		68-69	44-45	26.9
	カラー1/カラー2(最低速度）		70-71	46-47	27.6
	カラー2（最低速度）		72-73	48-49	28.4
	カラー2/カラー3（最低速度）		74-75	4A-4B	29.2
	カラー3（最低速度）		76-77	4C-4D	30.0
	カラー3/カラー4（最低速度）		78-79	4E-4F	30.8
	カラー4（最低速度）		80-81	50-51	31.6
	カラー4/カラー5（最低速度）		82-83	52-53	32.4
	カラー5（最低速度）		84-85	54-55	33.1
	カラー5/カラー6（最低速度）		86-87	56-57	33.9
	カラー6（最低速度）		88-89	58-59	34.7
	カラー6/カラー7（最低速度）		90-91	5A-5B	35.5
	カラー7（最低速度）		92-93	5C-5D	36.3
	カラー7/カラー8（最低速度）		94-95	5E-5F	37.1
	カラー8（最低速度）		96-97	60-61	37.8
	カラー8/カラー9（最低速度）		98-99	62-63	38.6

チャンネル	機能	時間、値	DMX	HEX	%
5)カラー	カラー9(最低速度)		100–101	64–65	39.4
	カラー9/カラー10(最低速度)		102–103	66–67	40.2
	カラー10(最低速度)		104–105	68–69	41.0
	カラー10/カラー11(最低速度)		106–107	6A–6B	41.8
	カラー11(最低速度)		108–109	6C–6D	42.5
	カラー11/オープン(最低速度)		110–111	6E–6F	43.3
	オープン最低速度		112–127	70–7F	44.1
	カラー回転、 最高速度→最低速度、CW	最低 1.4 回転/時間	128–191	80–BF	50..75
	カラー回転、 最高速度→最低速度、CCW	最大 2.9 回転/秒	192–253	C0–FD	76..98
	オーディオカラー、チェーサー (最低速度)	4 ビート毎に カラー切替え	254	DE	99
	オーディオカラー、チェーサー (最高速度)	1 ビート毎に カラー切替え	255	FF	100
6)ゴボ	ゴボ 1(オープン、最高速度)	チェーサー ゴボが切替わります。 100BPM→0.6s	0–7	0–7	0–2.9
	ゴボ 2(最高速度)		8–15	8–F	3–5.9
	ゴボ 3(最高速度)		16–23	10–17	6–8.9
	ゴボ 4(最高速度)		24–31	18–1F	9–11.9
	ゴボ 5(最高速度)		32–39	20–27	12–14.9
	ゴボ 6(最高速度)		40–47	28–2F	15–17.9
	ゴボ 7(最高速度)		48–55	30–37	18–20.9
	ゴボ 1(オープン、最高速度)		56–63	38–3F	21–23
	ゴボ 1(オープン、最低速度)	チェーサー ゴボが切替わります。 40BPM→1.51s	64–71	40–47	24–26.9
	ゴボ 2(最低速度)		72–79	48–4F	27–29.9
	ゴボ 3(最低速度)		80–87	50–57	30–33.9
	ゴボ 4(最低速度)		88–95	58–5F	34–36.9
	ゴボ 5(最低速度)		96–103	60–67	37–39.9
	ゴボ 6(最低速度)		104–111	68–6F	40–42.9
	ゴボ 7(最低速度)		112–119	70–77	43–45.9
	ゴボ 1(オープン、最低速度)		120–127	78–7F	46–49
	ゴボ回転、 最低速度→最高速度、CW	最低 1.4 回転/秒	128–191	80–BF	50–75
	ゴボ回転、 最高速度→最低速度、CWW	最大 1 回転/秒	192–253	C0–FD	76–98
	オーディオゴボチェース、 最低速度	4 ビート毎にゴボ切替	254	FE	99
	オーディオゴボチェース、 最高速度	1 ビート毎にゴボ切替	255	FF	100
7)ゴボ角度、回転	ゴボ角度 0～540°		0–131	00–7F	0–50
	ゴボ回転、 最低速度→最高速度、CW	最低 2 回転/時間	132–191	80–BF	51–75
	ゴボ回転、 最高速度→最低速度、CWW	最大 3.8 回転/秒	192–253	C0–FD	76–100
	オーディオゴボ回転、最低速度	4 ビート毎に角度切替	254	FE	99
	オーディオゴボ回転、最高速度	1 ビート毎に角度切替	255	FF	100
8)プリズム	プリズムスウィングアウト		0–5	00–02	0–2
	プリズム角度 0～540°		6–129	00–7F	0–50
	プリズム回転、 最低速度→最高速度、CW	最低 1.6 回転/時間	130–191	80–BF	51–75
	プリズム回転、 最高速度→最低速度、CCW	最大 4.4 回転/秒	192–253	C0–FD	76–100

チャンネル	機能	時間、値	DMX	HEX	%
8)プリズム	オーディオプリズム回転、 最低速度	4 ビート毎にプリズム切替	254	FE	99
	オーディオプリズム回転、 最高速度	1 ビート毎にプリズム切替	255	FF	100
9)シャッター	シャッター閉鎖		0-15	00-0F	0-6
	ランダムストロボ （異なるパターンで点灯）		16-31	10-1F	7-11.9
	ストロボパルスエフェクト、 最低速度→最高速度	最低周波数特性 0.7Hz	32-47	20-2F	12-12.9
	ストロボエフェクト、 最低速度→最高速度	最高周波数特性 10Hz	48-239	30-EF	13-93
	シャッターオープン（電球点灯）		240-255	F0-FF	94-100
10）ディマー	ディマー閉鎖（0%）		0-3	0-3	0-1
	ディマー1%～99%	動作時間 0.3 秒	4-251	4-FB	2-98
	ディマーオープン（100%）		252-255	FC-FF	99-100
11）フォーカス	IN—OUT	最長距離 1.5 秒	0-255	0-FF	0-100
12）特殊機能	機能しません		0-15	00-0F	0-6
	ゴボ・シーソー+/－10° 最低速度→最高速度	最低 3.5 動作 最大 60 動作	16-31	10-1F	7-12
	ゴボ・シーソー＋/－20° 最低速度→最高速度	最低 3.5 動作 最大 60 動作	32-47	20-2F	13-18
	ゴボ・シーソー＋/－30° 最低速度→最高速度	最低 3.5 動作 最大 60 動作	48-63	30-3F	19-24
	ゴボ・チェーサー C/C+1 最低速度→最高速度	0.7BPS-2.3BPS →1.43s-0.43s	64-79	40-4F	25-31
	ゴボ・チェーサー C/C+2 最低速度→最高速度	0.7BPS-2.0BPS →1.43s-0.5s	80-95	50-5F	32-37
	オーディオ PAN/TILT 最低速度	4 ビート毎に角度切替	96-111	60-6F	38-43
	オーディオ PAN/TILT 最高速度	1 ビート毎に角度切替	112-127	70-7F	44-50
	機能しません		128-249	80-F9	50-97
	電球 OFF（3 秒）		230-249	6E-9F	92-97
	リセット		250-255	FA-FF	98-100
13）動作	動作しません		0	00	0
	動作 / サイズ / フェーズ				
	PAN / 1 / 0°		01-01	01-01	0.5
	1 / 90°		02-03	02-03	1.0
	1 / 180°		04-05	04-05	1.7
	1 / 270°		06-07	06-07	2.5
	PAN / 2 / 0°		08-09	08..09	3.3
	2 / 90°		10-11	0A-0B	4.1
	2 / 180°		12-13	0C-0D	4.9
	2 / 270°		14-15	0E-0F	5.7
	PAN / 3 / 0°		16-17	11-11	6.5
	3 / 90°		18-19	12-13	7.3
	3 / 180°		20-21	14-15	8.0
	3 / 270°		22-23	16-17	8.8
	PAN / 4 / 0°		24-25	18-19	9.6
	4 / 90°		26-27	1A-1B	10.4
	4 / 180°		28-29	1C-1D	11.2
	4 / 270°		30-31	1E-1F	12
	TILT		32-63	20-3F	13-25
	PAN/TILT		64-95	40-5F	26-37
	PAN/TILT（反転）		96-127	60-7F	38-50

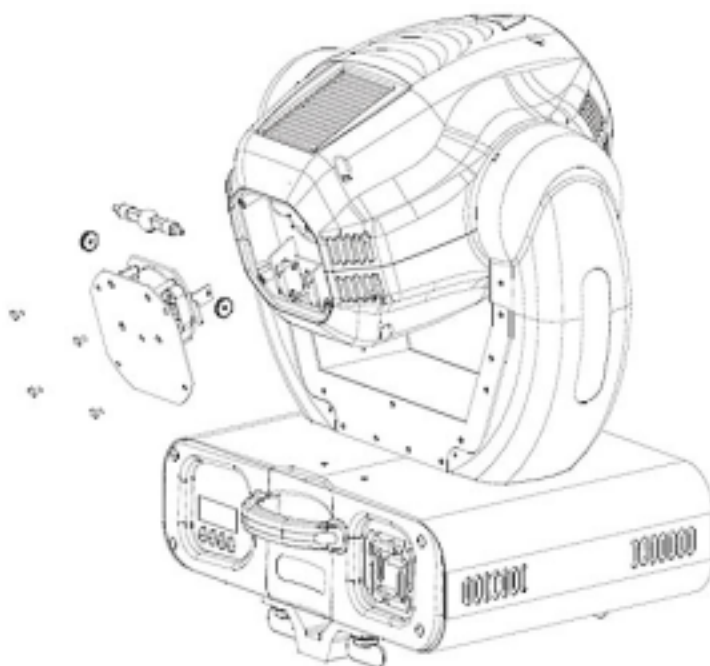
チャンネル	機能	時間、値	DMX	HEX	%
13)動作	サークル		128-159	80-9F	51-62
	サークル(反転)		160-191	A0-BF	63-75
	8 の字(横倒し)		192-223	C0-DF	76-87
	ランダム動作		224-255	E0-FF	88-100
14)スピード PAN/TILT	PAN/TILT 関連動作		00-15	00-0F	0-6
	PAN/TILT 最低速度→最高速度動作スピードを調節する際にもチャンネル 14 を使用します。	PAN 最小 530°=200s PAN 最大 530°=2.65s TILT 最小 285°=110s TILT 最大 285°=1.8s	16-255	10-FF	7-100
15)レーザー	レーザーOFF レーザーストロボ最低→最高速度 レーザーON		0-15 16-239 240-255		0-6 7-96 97-100
電球 ON	シャッターオープン		240-255	F0-FF	94-100
電球 OFF	チャンネル 12(最低 3 秒) シャッターが閉じている場合に限る、チャンネル 9=0-15)		230-249	6E-9F	92-97

電球の交換

安全上のご注意(電球交換)

- 作業前に必ず電源プラグを抜いて下さい。
- 稼動後 20 分間は手を触れず放置し、本体の熱を十分冷まします。
- 電球には素手で触れないで下さい。ガラス部に直接手で触れると、油脂が付着して電球が破損することがあります。その際は柔らかい布でお拭き取り下さい。また衝撃などにより電球内のフィラメントが崩れることもありますので取扱いにはご注意下さい。
- 電球装着後、必ず本体を閉じて下さい。電球ケースを開いたまま電球を点灯すると、網膜を傷つける恐れがあります。

電球の交換手順

- はじめに電源プラグを抜きます。
- 4 本の固定ネジをゆるめて電球カバーを取り外して下さい
- 電球カバーを外すと電球が見えますので、古い電球を取り外して下さい。破損の恐れがあるため、必ず手袋や布をあてがって電球を取り外します。
- 交換電球を取り付けます。しっかりと端子台に固定されていることを確認して下さい。
- 定格とあった電球をご使用下さい。
- カバーを閉め直します。
- 電球の稼働時間は Time メニューで確認できます。

ヒューズの交換

ヒューズを交換する際は必ず同じタイプのものと交換して下さい。

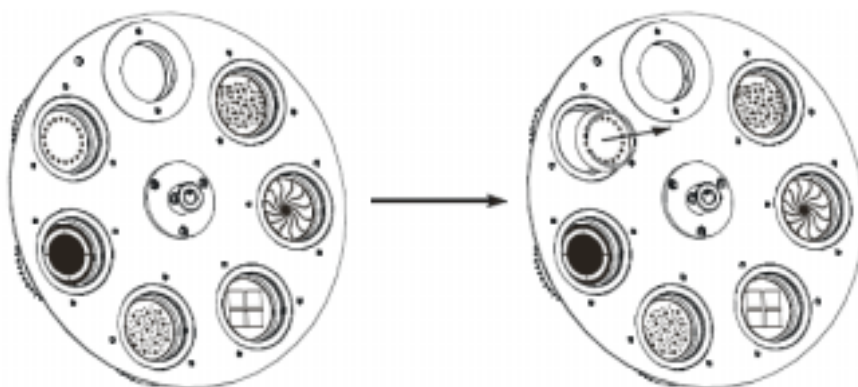
ゴボの交換方法

PowerSpot 575 には直径 27mm、絵柄直径 23mm のゴボが搭載されています。スチール、ガラス・ゴボの両方を使用いただけます。

安全上のご注意

- はじめに電源プラグを抜きます。
- 稼動後は 20 分間手を触れずに放置し、本体の熱を十分冷まします。
- ゴボを交換したら必ずカバーを閉めて下さい。カバーが開いた状態で電球を点灯すると、網膜を傷つける恐れがあります。

ゴボの交換手順

- 電源プラグを抜いて下さい。
- 小型のスクリュードライバーでゴボ用スプリングを取り外します。
- ゴボを取り替え、ゴボ用スプリングで元通り固定して下さい。
- 本体を閉め直します。

注意：ガラス製のゴボの場合、非発揮性の面を電球に向けて設置して下さい。

メンテナンス

本体の表面や内部に埃や汚れ、スモーク液などの残留物が付着しない様、清掃は必ず行って下さい。ガラスクリーナーと柔らかい布(糸くずが出ないもの)を使用し、アルコール類は絶対に使用しないで下さい。

注意:清掃を始める前に必ず電源を切って下さい。

清掃の頻度

パーツ	頻度	清掃方法
外側のレンズ	一週間に一度	ガラスクリーナーと柔らかい布で拭いて下さい。
カラーフィルター	一ヶ月に一度	ガラスクリーナーと柔らかい布で拭いて下さい。
ゴボ	一年に一度	掃除機やエアブラシで清掃して下さい。
ガラス・ゴボ	一ヶ月に一度	ガラスクリーナーと柔らかい布で拭いて下さい。
プリズム	一ヶ月に一度	ガラスクリーナーと柔らかい布で拭いて下さい。
ディマー/シャッター	一年に一度	掃除機やエアブラシで清掃して下さい。
内部レンズ	一ヶ月に一度	クリーナーは使用せずに、柔らかい布で拭いて下さい。
ファンおよび通気孔	一ヶ月に一度	掃除機やエアブラシで清掃して下さい。
反射鏡	清掃しません	
電球	清掃しません	
移動用パーツ	一年に一度	潤滑油を差して下さい。

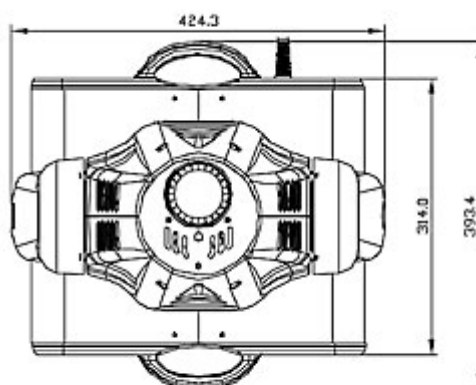
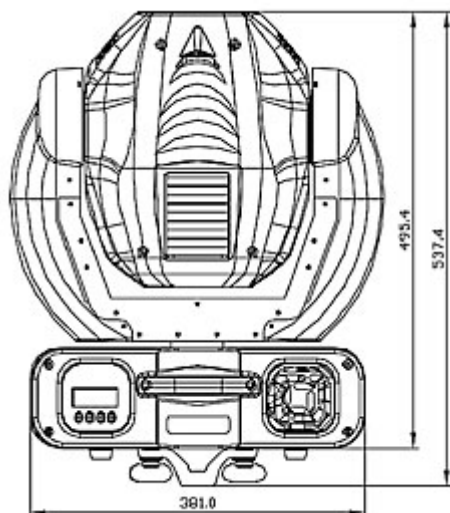
外側のレンズに油脂が付着しない様ご注意下さい。

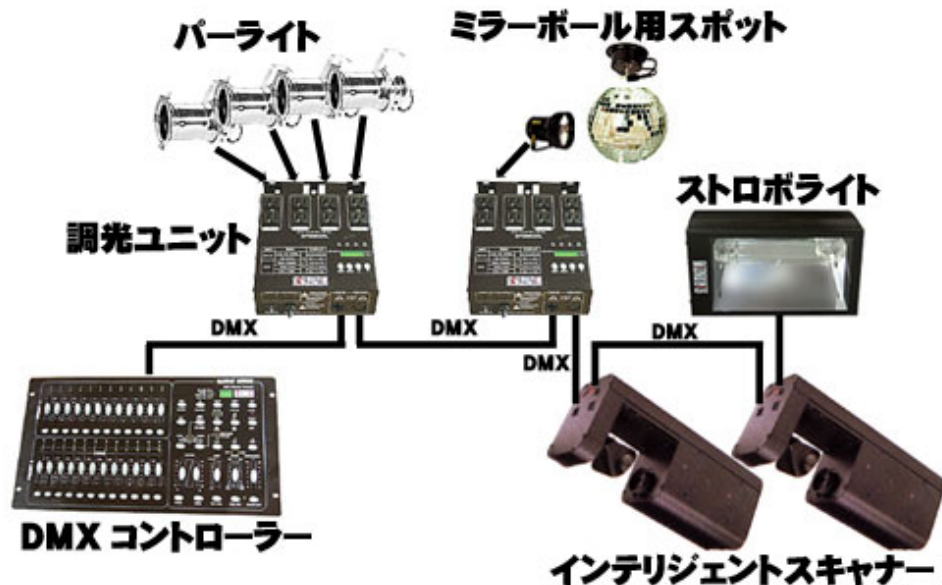
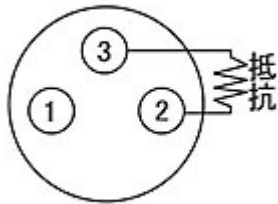
清掃用のクリーナーなど、水分が十分乾いているのを確認してから電源を入れて下さい。

非球面レンズを水やクリーナーを付けた布で拭かないで下さい。レンズが濁ってきたら

交換して下さい(目安として 1-2 年)。レンズの交換が必要な場合はご購入された販売店、または正規輸入代理店までご相談下さい。

製品仕様

消費電力	700W
電圧	AC100、50/60Hz
ヒューズ	T10A、115V、5×20mm
電球	HTI 575-DE
オプティカルシステム	パラボラ反射器 ダブルコンデンサーレンズ 15°対物レンズ（オプションで 12°、18°あり） 非反射加工レンズ
カラー	11 ダイクロイックフィルター+白色、12 ハーフカラー
ゴボ	ゴボホイール 1:　7 取換え可能な回転ゴボ（オープン） 4 ガラスゴボ ゴボホイール 2:　9 取換え可能な固定ゴボ（オープン） 外径 27mm、イメージサイズ 23mm ゴボは全て回転、位置設定可能、9 のスペアゴボ付属
シャッター/ストロボ/ディマー	ストロボは一秒間に 1～10 フラッシュで選択可能 ディマー照度 0～100%で調整可能
プリズム機能	3 相ロータリー･プリズム機能（スピード可変）
フォーカス	モーターにより稼動
ドライブ	DMX512 対応 3 ピン XLR、＋＝ピン 3、－＝ピン 2、アース＝ピン 1 DMX アドレスは 001 から始まります。
パン動作範囲	最大 530°、2.65 秒、解像度 16bit
チルト動作範囲	最大 280°、1.68 秒、解像度 16bit
寸法、重量	ベース横幅 380mm ベース長さ 315mm（390mm ハンドル含む） 高さ 510mm 本体重量 24.4kg 本体重量 26.8kg（総重量）

DMX 対応照明機器の基本的な接続方法

＜接続例＞

・DMX 対応の照明機器は、上の図の様に配線を行います。配線用ケーブルには DMX ケーブルもしくはマイクケーブルを使用して下さい。接続する台数に制限はありませんので、複数の照明機器を簡単に接続可能です。DMX 対応のスモークマシーンも同様に接続可能です。

・DMX 対応の照明機器を接続する順番は決まっていませんが、なるべく距離が長くならない様に配線を行って下さい(※)。

・調光ユニット(ディマー)を使用し、パーライト(PAR64 や PAR38 等)の明るさを調節します。

・インテリジェントスキャナーや、ストロボ等の電源は通常のコンセントからとって下さい。パーライト以外の照明機器の電源を調光ユニットから取った場合、動作が不安定になる、又は動作しない場合があるばかりか故障の原因にもなります。DMX 非対応のインテリジェントライトも同様に通常のコンセントから電源を取って下さい。

※ー長距離の配線についてー

50m を超えるような配線になる場合、DMX 信号の伝達がうまくいかず照明機器の動作が不安定になることがあります。その場合、ターミネーターを作成/使用して下さい。ターミネーターとは最後に接続された DMX 対応照明機器の出力に差し込むダミープラグをさします。作成の方法は下記の作成方法を参照して下さい。

ターミネーターの作成方法

ご自身で作成できない場合は、お求めの販売店にお問い合わせ下さい。

	・オスの XLR コネクターを使用し、120Ω 1/4W の抵抗を、図の様に 2 番と 3 番ピンに接続しショートさせて下さい。